



さんぽみち

発行 わがまち大田鵜の木地区推進委員会

連絡先
鵜の木特別出張所
3750-4241

わがまちはみんなの一步から

迎春



鵜の木東町会長

佐藤 大助



鵜の木東町会では、町の安心と安全を守るため区役所・警察署・消防署・学校関係者の方々と密接な協力関係を持ちながら各種事業に取り組みいております。

特に防災訓練では東調布第三小学校を会場として子ども達・PTAの参加を頂いて地域一帯となり実施してまいります。また、長年取り組んできたサイクル活動により得た資金も災害時に役立つ基金として積み立てていきます。春・秋の交通安全・防犯・防火活動・青少年の健全育成事業等、町会一丸となって活動しております。私もこのように大切な町会活動に携わって四十年の年月が過ぎました。これらもひとえに町会役員をはじめとする皆様のご支援・ご協力があればこそと感謝申し上げます。

南久が原一丁目町会長 平川 漢夫



平成十四年四月、大田区で初めての試みである区民による公園等の自主管理ふれあいパーク活動を実施いたしました。

当町会には南久が原児童公園・コアラ公園の二ヶ所の公園があります。町会役員の間を頂き四月より毎週土曜日に園内の清掃・除草及び花壇の手入れ等を行い、子ども達が安心して遊べる公園にと自主管理団体として申請を致しました。この奉仕活動が、町を綺麗にする環境づくり・明るい住みよい町づくりの一助となり、活動が長く続いていくことを願っております。

千鳥北町会長

川上 智由



わが千鳥北町会は昭和二十八年に組織され、昭和八十年に再組織されたが、大田区の各町会・自治会も同様。経過をたどった事はご承知と存じますが、俗に町会と商店会との目的が若く違ふ為、仲が悪いといわれております。二十数年前よりこの課題を話し合いながら現在に至り、少なくとも解消されたいです。地域の発展は商店会の協力なくしては力強くなりません。今後とも一人ひとりが考え、みんなが協力しあい、より良い地域にしてゆべくよう頑張る覚悟です。

千鳥南町会長

大芦 重雄



当町会の長年の懸案だった会館の竣工式を昨年十一月一日に迎える事が出来ました。行政を始め連合町会・近隣町会・多方面の方々から祝辞を戴き、それぞれ立場からご指示や励ましを受け誠にありがとうございました。

一日一日を自分の為にと思いつながら気が付くと会館に足が向いていた。昨日迄を考えると改めて感謝し、会館が地域発展の為に活用され、更に努力して行きたいと思っております。最後に、前会館を偲んで一言紹介いたします。昭和十三年頃に建設され戦火にも焼けず、昭和二十年から千鳥南町会館として使用されておりました。ありがとうございました。

鵜の木三丁目町会長

伊集院 雅英



私がご縁を得てこの町に住み着いてから何年か経ちました。この町は離れられない大切な場所です。この事は、ここにお住まいの皆様方にとっても同様だ

と思ひます。豊かな山や川・緑に恵まれたこの町は、孫々に残していかねばなりません。黙々と地道に実践されて居られる方は、沢山の力を結集して益々、是非とも皆様の町に力をしていこうではありませんか。

鵜の木西町会長

古谷 資友



木枯らしが吹いて冬到来です。都会で生活している季節の推移が身近に感じられませんが、人が生活していく上で大切なものは、地・水・火・風・空だと云われています。寒い時期は空気が澄んでいて山や川が美しく見えます。鵜の木の緑の高台から夕日の沈む富士山やその周辺の風景を心に刻みましよう。今、教育の在り方が問われています。人間社会の形成は地域・学校・家庭での人づくりから始まるものと思われ

鵜の木二丁目町会長

松本 浩三



私たちの町の自慢の一つに「全国鵜の木まつり」がある。これは毎年七月に全国十二ヶ所の「鵜の木」という同じ地名に呼びかけ、その地方の文化・芸能・食文化などを紹介している。二つ目は若手の落語家を育てる「鵜の木寄席」、三つ目に郷土民謡の「鵜の木音頭」、三つ目に郷土民謡の「鵜の木音頭」と日本古来の伝統音楽の「多摩川鵜の木太鼓」である。現在は福祉関係等への演奏活動を行っており大変喜ばれている。常に町の歴史、文化を大切にして、だれでもが住みよい町になるように目指している。

わがまちあの人この人

老いを迎えて

南久が原二丁目

板倉 正子



日本で始めて生命表が作られた一九四七年には男性五十・六歳で女性五十三・一九歳が、一九九七年には男性七十七・一九歳、女性八十三・八二歳で過去最高を更新したと当時厚生省が発表している。そして一九九九年「敬老の日」の九月十五日現在の六十五歳以上の高齢者の推計人口は、二一・一六万人となったことが総務庁の調査で判明した。

日本は食物を始めいろいろの關係で健康状態が良く、我が国の平均寿命は世界一のことである。今の老人は体力、行動力、意識とも昔より三割方若いといわれ、寿命が伸びたことは最後の時間も伸びたことになるので健康な人は、年齢によって得られる知恵や体験を尊重し社会に目を向けてほしい。この頃、若い母親が子育てに自信がなく悩んでいるという。こうした若い母親に、老人が自分の体験からの子育ての術を授ける機会があれば素晴らしいことだと思つてゐる。

人生八十年代を迎えて、私たち高齢者も身体を大切に、残り少ない人生を有意義に過ごしたいものである。

平成今昔ものがたり

鶉の木一丁目

久保田 健治



正月の楽しみのひとつにこたつに入つて読む年賀状がある。

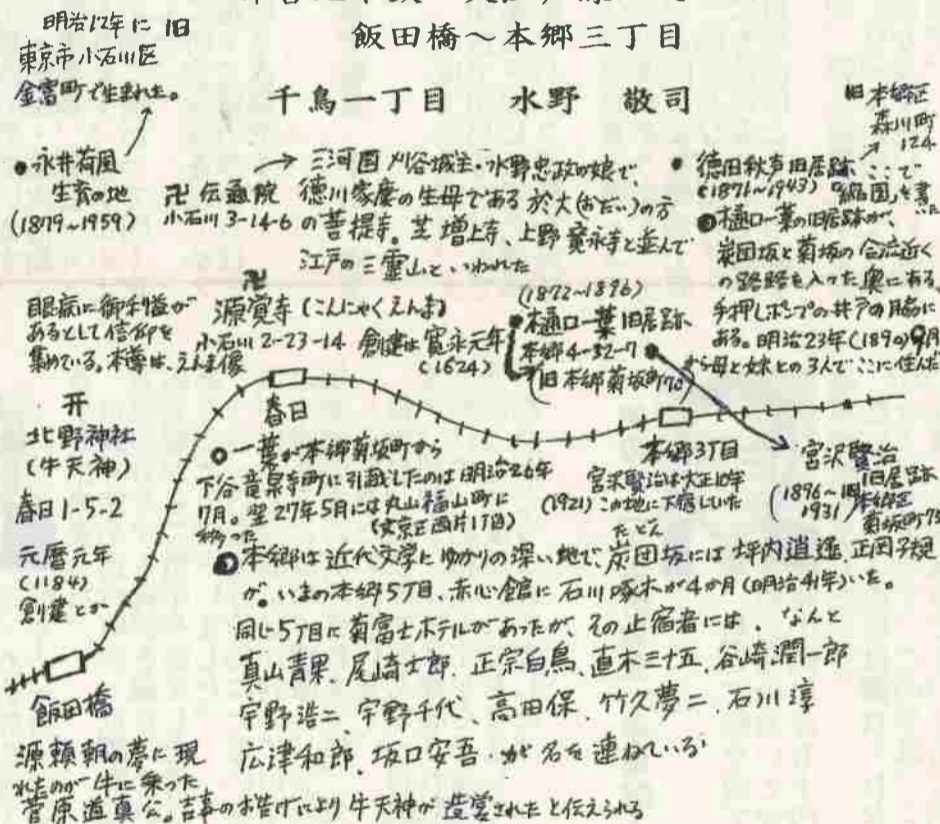
ただ残念なのは年々肉筆版画の比率が減りパソコン印刷によるものが増えてきたことである。時代の流れと言つてしまえばそれまでだが、年一回の便りは時間をかけても手書きはその人の顔がうかんでくるし、頂いて嬉しいものだ。

特筆すべきは小学校一年の担任の女先生がもう四十年余り肉筆で、ほとんど手筆が変らず毎年欠かさずポストに入つてゐる事である。

最近都内の住所から近隣の老人ホームに移つたのは八十を過ぎ介護が必要になつたからだと思つたが、いつまでも元気でいてほしい。

さんぽしてみませんか

都営地下鉄「大江戸線」その5
飯田橋～本郷三丁目



リレーエッセイ

江戸発祥の地 鶉の木

鶉の木二丁目

稲名 清和



江戸四郎重継が武蔵野國秩父から江戸に出てきたのが治承二年（一一七八）六月で、荏原領に居館を構えたこととす。

※この場所は、光明寺の西側、丸子の渡しを望む高台とのことで今では何処であるか判りませんが、光明寺から多摩川沿いの高台であることは間違いないと考えられます。※「江戸氏の研究」から私は、近々整備工事が始まる予定の鶉の木一丁目にある「松山」の公園に「江戸は鶉の木からはじまった」という主旨のモニュメントを建てて頂くことを願つています。

このような当地の歴史を伝える碑を建てる所として、宅地開発の進んだ現在では「松山」が残された唯一の場所と思うからです。

新しく整備された公園であそぶ子ども達の傍らで、いにしえを偲ぶのも楽しいことではありませんか。

俳句

鶉の木三丁目 中澤 瑞穂

初鏡一病あるも長寿眉
喜寿の顔すこしおどけて初鏡
茶柱にただそれだけの初笑ひ



編集後記

寒風に耐へる野草のかれんな花一輪、知らず知らず私達の心をなごませてくれる。

手袋をはめた手をさしのべても花は、「元氣だぞ！」と云わんばかり美しく頑張っている。

新しい年を迎へて皆様、心から初春をお喜び申し上げます。

今年も編集員一同、記事に編集にと、努めて参ります。

編集長 池田 進太郎

鶉の木特別出張所管内	
人	男 10,681名
	女 11,193名
□	計 21,874名
世帯数	10,897世帯
平成14年12月1日現在	